

パワー資料②-A

次期学習指導要領対応授業力向上研修



生徒の実態に即した
カリキュラム・マネジメント



静岡県総合教育センター
専門支援課 特別支援班

カリキュラム・マネジメント

学校教育目標を実現するために、教育課程を編成し、それを実施・評価・改善していく営み

学校教育目標を実現するために

教育課程を編成し、それを実施・評価・改善していく営み

カリキュラム・マネジメント

学校教育目標を実現するために、教育課程を編成し、それを実施・評価・改善していく営み

カリキュラム・マネジメントの3側面（答申）

- i) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた**教科横断的な視点**で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していくこと。
- ii) 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、**教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立**すること。
- iii) 教育内容と、教育活動に必要な**人的・物的資源等を、地域等の外部の資源**も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

カリキュラム・マネジメント

学校教育目標を実現するために、教育課程を編成し、それを実施・評価・改善していく営み

カリキュラム・マネジメントの3側面（答申）

i) 教科横断的な視点

i) 各教科等の教育内容相互にわたって、学校の教育目標達成に必要となる教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配分していくこと。

ii) 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。

iii) 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

(つなぐ)

教科横断的な視点から

地域・社会・世界

「社会に開かれた教育課程」を実現する

社会や世界の状況を幅広く視野に入
り、社会創りを旨とする
理念を、教育課程を介して社会と
共有していく。

向き合い関わり合っ
ていくための資質・能力と
は何かを、教育課程において明確化
していく。

学校教育を学校内に閉じずに、その
目指すところを社会と共有・連携し
ながら実現させる。

「論点整理」より抜粋

学習の成果
解決したい
課題や問い
対話と思考
考えるための
材料

Do

教育活動の改善を図る

をつなげたり、各教科等と地域の人的・物的
げたりして、教育効果を最大限に高める。

各教科

教科A
教科B
教科C
教科D
教科E

道徳教育
外国語活動
総合的な学習の時間
特別活動 など

ICTの活用

地域の人的・物的資源の活用

「解決したい課題や問い」
を設ける。
教科横断的な視点から
「考えるための材料」
を検討する。

深める手立てに
ついて、教科を
越えて情報共有
する。

ICTを
有効に活用する。

地域の人的・物的資源を
効果的に活用する。

「学習の成果」を
高める評価について、
教科を越えて情報共有する。

演習の進め方

アクティブ・ラーニングの視点による授業づくりを
各教科・領域へつなげる

<個人>

- (1) 教育目標を資質・能力の視点で確認する(5分)
- (2) 実践した授業と他教科・領域のつながりを
図式化する(15分)

<グループ協議>

- (3) 横断的な資質・能力のより良いつながりに
ついて情報交換(20分) 5～6分×人数
全体発表(12分) 4分×3人

さらに授業を改善するために

ワークシート2 (願う児童・生徒の姿と各教科・領域で育成できる資質・能力)

所属 () 氏名 ()

学校・学部の 目標、目指す児童 生徒像等 (資質・能力)	①知識・技能:		
	②思考力・判断力・表現力:		
	③主体性・人間性:		
	育成すべき資質・能力		
	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性 学びに向かう力 人間性
今回実践した 教科・領域 ()	● ●	● ●	● ●
つなげる 教科・領域① ()			
つなげる 教科・領域② ()			
つなげる 教科・領域③ ()			
ICTの活用 ()			
地域の人的・物的 資源の活用 ()			

資質・能力
から見る
教育目標

各教科・領域
の資質・能力
のつながり

ICTの活用
地域人材
資源の活用

ワークシート2 (願う児童・生徒の姿と各教科・領域で育成できる資質・能力)

所 属 () 氏 名 ()

学校・学部の 目標、目指す児 童生徒像等 (資質・能力)	①知識・技能： 社会参加のために活用できる知識や技能を育てる。 ②思考力・判断力・表現力： 自分の良さや課題に気付き、目標を持つことができる。 ③主体性・人間性： 主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てる。		
	育成すべき資質・能力		
	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性 学びに向かう力 人間性
今回実践した 教科・領域 (作業学習)	メニューを値段表と照合し ながら、正確な会計業務を 行う。	喫茶サービスの接客の仕 方を学び、適切な対応が できる。	接客のプロの働き方を進 んで学び、喜ばれる仕 事をしようとする。
つなげる 教科・領域① (生活単元)		地域の方と関わる場面を 設定し、喫茶サービスでの 学びを生かす。	
つなげる 教科・領域② (数学)	会計業務に必要な計算の 仕方を学ぶ。		
つなげる 教科・領域③ ()			
ICTの活用 ()			
地域の人的・物的 資源の活用 (コーヒーショップ)			コーヒーショップの店員の方 から働き方を進んで学び、自 分の作業に活かそうとする

教科横断的な視点から

教育活動の改善を図る

